

神奈川県最北の山 生藤山

実施日 2019年3月9日(土)

天候 快晴

リーダー 渋谷 京子

参加者 山崎富美恵、石附智江、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、小名秀鋭、瀧澤きよの、白石佐恵、宮崎敏男 計11名

費用 JR(高尾起算)560円 乗650円
計1,210円

タイム 上野原駅(8:35~9:00)井戸BS(9:08)軍刀利神社奥の院(9:40~9:45)三国山(10:45~11:20)生藤山(11:30~11:40)連行峰(12:20~12:25)山の神(12:50~12:55)分岐(13:45)和田バス停(13:55)

毎度の事だがリーダーを悩ませるのは天気で一週間前から睨めっこの日々。

当日は雨の確率が高く前倒ししてこの日の実施となった。にもかかわらず多くの方にご参加頂き賑やかな楽しい山行になった。

さて上野原駅バス停でハプニング！一本早いバスに座れた。ほっとしたのも束の間、足りない3名！トイレらしい。

バスは出発してしまい井戸BSで合流し舗装道路を登山口へと歩きだした。



青空のもと凜とした空気に包まれる。白い衣を纏った富士が迎えて

くれた。

里の梅の木に目をやりながら進むと登山口の表示、右へ曲がり急坂の舗装路が軍刀利神社奥の院へ

と続く。

青銅の鳥居をくぐり左に社務所を見て登って行く。再び鳥居をくぐって石段を登ると本殿に着く。お参り後暫く

進むと赤い橋、右に推定樹齢450年高さ33mの県の天然記念物のオオカツラの木が立っている。階段を登れば奥の院だ。

左から登山道に取り付き樹林帯の中ジグザグを繰り返して登って行く。



山は春まだ浅く芽吹きは先のような。雑木林になって明るくなると分岐、右に三国山、生藤山、左は奥の院元社、女坂とある。地図を見ると笹尾根に通じる道で近そうそちらに向かう。只、道幅は狭く霜柱が葉っぱに見え隠れして緊張を強いられる。



笹原が見えて来ると尾根ま

で一登りである。笹尾根を左に行くと三頭山方面、右に丸太の階段を15分で三国山に到着した。名の如く東京、山梨、神奈川の堺になっておりベンチやテーブルが設置されており西には権現山、三つ峠、道志の上に富士の姿が望める。

少し早いが会貸し切りのランチタイム、皆さんそれぞれの差し入れでテーブルが華やかになり有難く美味しく戴く。お腹も満足、景色も堪能したので

生藤山へ向かう。

一旦下り、岩尾根を登りきると山頂の筈だが注意散漫なリーダーは左の巻道へ進んでしまった。途中で引き返し岩尾根に取り付いたが生藤山をスルーするところだった。反省する事しきり失礼しました。



山頂で集合写真に収まり下山開始。緩やかな尾根を下っていくといきなり岩尾根の急降

下！ゆっくりと慎重に下って行くと左に先程の巻道に合流した。

快適な関東ふれあいの道を進むと生藤山より30分高い茅丸、二手に分かれ少し先で合流する。



幾つかのアップダウンを繰り返すとベンチのある連行峰に辿り着く。



今日は気温がうなぎ上りで4月上旬とか、上りは結構汗をかいたが尾根はそよ風が心地良い。

ここからは下り一辺倒、暫く進むと分岐の山の神、直進すると醍醐丸、和田峠方面、道標に従い右の和田バス停に向けて下りにかかる。

落ち葉に小石が混じり滑りやすい。ジグザグ道をグングン下っていくと次は石ごろごろが続く。勘弁して！と思う頃、右下に『こん

なところにポツンと一軒家』が。聞くとところによると数十年前まで住んでいて、竹細工を売って暮らしていたらしいとか。

どうりで廻りを見ると緑鮮やかな竹林が道沿いに続いている。漸くなだらかな道になりやがて舗装路になった。これが曲者で疲れた四頭筋を痛めつける。



里山を下りて行くとサプライズが・・・前方に目を向けると河津ざくらがあちら

こちらに咲いている。歓声をあげ大喜び～疲れも吹っ飛んだ(*^^)v

分岐に差し掛かり右折、10分で藤野駅行の和田バス停に到着した。

大変お疲れ様でした。

井戸バス停にて、生藤山って何県の山？山梨？東京でしょ！天気を調べるのに苦労したとかしないとか？

みなさ～ん神奈川県最北の山ですよ。お勉強になりました！！

この上ない天気、いつ見てもかっこいい！富士山、お喋りも絶好調のメンバー、笑いも絶えず本当に楽しい山行になりました。

これだから山は止められないですね！参加された皆さん有難うございました。又、御一緒にね～！

(記・渋谷 京子)
(写真提供・石原 勝正)

